

令和6年度使用小学校教科用図書審議会

第4回会議録

日時：令和5年7月3日（月）

17時59分～18時57分

場所：文京シビックセンター20階

教育委員会室

文京区教育委員会

# 令和6年度使用小学校教科用図書審議会（第4回）会議録

日時：令和5年7月3日（月）17時59分～18時57分

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

「出席」	委	員	長	山	田	晴	康
	委		員	吉	川	宏	樹
	委		員	土	肥	陽	子
	委		員	磯	崎	啓	太
	委		員	吉	岡	淳	
	委		員	小	池	夏	子

「幹部職員」	教	育	指	導	課	長	赤	津	一	也
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「事務局」	統	括	指	導	主	事	藤	咲	秀	修
	指	導	主	事			室	岡	祐	太

○ **担当** それでは、お時間が参りましたので、私から最初に配付資料の確認等をさせていただきます。本日お配りいたしました資料は、本日の次第、資料1「答申文案」、資料2「令和6年度使用小学校教科用図書審議会（第3回）会議録」、資料3「令和5年度教科書展示会実施報告」教育センターのものと、資料4、小石川図書館のものがございます。よろしいでしょうか。

なお、資料3、4につきましては、会議終了後、回収をさせていただきたいと思っております。御協力よろしくお願いたします。

また、本日は、東京都教育委員会が小学校において令和6年度から使用される新しい教科書の採択に当たり作成しました「令和6～9年度使用教科書調査研究資料（小学校）」も机上配付しております。適宜御覧いただければと思います。

本日は、二名の委員から欠席の連絡をいただいております。

それでは、早速ですが、委員長に審議を進めていただきます。よろしくお願いたします。

○ **委員長** ただいまより「令和6年度小学校教科用図書審議会」、第4回を開会いたします。

初めに、本日の審議の進め方について申し上げます。

第3回の審議会に続き、前回御審議いただいた算数を除く教科の答申文案について、内容を審議していただきます。

配付資料については、先ほど事務局より確認があったとおりです。審議を進めるに当たっては、これまでの資料を基にしたいと思っております。

最後に、記録の情報公開について申し上げます。本審議会の審議内容については、個人名を伏せて、話を要約させていただいたものを記録としてまとめることになっております。

記録については、8月31日まで時限秘となり、それ以降、情報公開の対象となりますので、御承知おきください。

それでは、早速、審議に入ってまいります。

お手元に答申文案がありますが、本日は国語から審議を進めてまいります。

前回、事務局や副委員長から説明があったとおりですが、各教科の前半部分については教科の目標が学習指導要領のところから記載されていること、その教科の教科書を選ぶ視点を記しています。

各出版社の部分については、教科用図書調査研究委員会からの報告のまとめを踏まえ、皆さんからいただいた御意見を事務局で答申文案としてまとめています。

本日は資料3、4の教科書展示会報告もあるため、区民の皆様の意見も御覧いただければと思います。

では、国語についてです。各発行者の答申文案でございますが、お読みいただいて、審議した中身でここに反映させたほうがいいのかということがありましたら、御意見をいただければと思います。

それでは、事務局のほうからよろしくお願いいたします。

○ **担当** それでは、国語の答申文案を読み上げさせていただきます。

国語科の目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、見通す→取り組む→振り返るという学習の進め方がステップアップ方式で示されており、学習の流れが明確で取り組みやすい。特に高学年は1冊になっており、学習に迷った際は進め方に戻って確認をすることができる。また、タブレット端末をどのように活用していくかがまとめられており、振り返ることができる。1ページあたりの情報量が多く、調べ学習をする上で活用しやすい。

教育出版は、高学年も上下巻が分かれていることで見やすく扱いやすい印象がある。「新聞を読もう」では図が多用され、説明のポイントが押さえられていて見やすい。また、漢文などの少し高度な内容の題材も取り上げられているとともに、「敬語」なども分かりやすく取り扱われている。SDGsに関連した内容を取り扱うなど、他教科等との連携が図られている。

光村図書は、学習の進め方について、学習者がどのように進めていくとよいか図式化されていて分かりやすく、目標をもって学ぶことができる。特徴としては、協働的な学びを重視した展開になっている印象がある。また、読み物教材のあとには、読書の幅を広げていく提案があり、作家別に選べるなど具体的で関心が広がるテーマが掲載されている。

以上です。

○ **委員長** それでは、調査研究委員会のほうで出されたものを基に本委員会で検討してきた内容について、ここに反映されているかなと思うのですが、答申文について、何か御意見がありましたらお願いしたいと思います。

資料3とか4とかがございませぬ。これはもう参考程度で、これを改めて見てというお時間は特になくてよろしいですか。

○ **担当** もし可能であれば、少しお時間を取っていただいて、一度、区民の皆様の声を確認するという時間を、今回、審議の時間、答申文案の審議ですので、少し御覧になる時間を取ってもいいのかなとは思いますが、いかがでしょうか。

○ **委員長** 教科に分かれて特に意見がというわけではないのですね。出されたものでということですね。

○ **担当** はい。あくまで教育センターと小石川図書館のほうで期限内に来校された方々の意見ということになっていますので、何か別に分かれているわけではございません。

○ **委員長** 分かりました。

それでは、いかがでしょうか。答申について何か意見がありましたらということで、国語科のほう、いかがでしょうか。

よろしいですか。

では、特に意見がないようなので、国語については以上で終わりにしたいと思います。

引き続き、資料の順番で、次、書写のほうについて、審議のほうに御意見をいただきたいと思えます。では、事務局のほう、お願いいたします。

○ **担当** それでは、書写のページを御覧ください。

書写に関する事項においては、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことができる書写の能力を育成することが求められている。このため、文字を書く基礎となる「姿勢」「筆記具の持ち方」「点画や一文字の書き方」「筆順」などの事項から、「文字の集まりの書き方」に関する事項へと系統的に指導することが重要である。

東京書籍は、書写を学ぶ意義が示されており、何のために学ぶのが理解しやすい。鉛筆や筆の運筆が擬音やイラストで描かれており、イメージしやすいように示されている。毛筆については、字だけでなく、道具に着目した内容も示されており、関心が引き出せる内容になっている。よい例とそうではない例が示されており、自分の文字と比較して課題を意識できるようになっている。

教育出版は、めあてだけでなく、学習を通して考えるべきことが提示されていて、学習者は意識しやすい。單元ごとに硬筆での「ためし書き」「まとめ書き」のスペースがあり、毛筆と硬筆をつなげる指導が構成されている。「横書きのノートの書き方」にもふれられており、学んだ内容を他教科や生活の中で生かすことができるように工夫されている。

光村図書は、学習の進め方が細かく示され、1時間の見通しをもつことができる。1・3年生で「スタートブック」が用意されており、初めて学ぶ児童にとって基本事項の理解に役立つ。特に、手本が右、ポイントは左に統一し示されている点や、筆使いで始筆が丸や三角などわかりやすい図形で示されている点は理解に役立つ。SDGsを取り上げ、他教科との関連も図られている。

以上です。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、書写についての答申文についてですが、何か御意見等ございますでしょうか。

この前、ここで審議されていた例えば教育出版なんかは「横書きのノートの書き方」であったり、あと、筆の運筆の擬音やイラストでというところはここでも話題になったところかなと思いますけれども、それぞれの教科書ごとにこの前ここで出された意見もまとめられているのかなと思います。

光村も、SDGsのことがこの前ちょっと出てまいりましたね。

では、書写についていかがですか。

基本的には、それぞれの教科書会社のここに出されたよさみたいのところ、活用のしやすさみたいな視点で、同じぐらいのあれでまとめられているということによろしいですね。

では、特に意見がないようですので、書写については以上で終わりにしたいと思います。

続いて、今度は社会のほうに入ります。では、社会ということで、事務局のほう、よろしくお願いいたします。

○ **担当** それでは、社会の答申文案を読み上げさせていただきます。

社会科の目標は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することである。

東京書籍は、学習の流れが「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の順で掲載されているとともに、主な見開きページに「まなびのポイント」があることで、見通しをもって問題解決的な学習を進められる。各単元で活用できる資料や動画が豊富であり、視覚的に分かりやすく理解を深められる。個別でもグループでも活用が図れる二次元バーコードのコンテンツが充実している。

教育出版は、学年間や単元間の接続を意識した単元構成であるとともに、段階を踏んだ展開であることで、学習をスムーズに進められる。写真やイラストがバランスよく配置され、重要語句も分かりやすく示されていることで、視覚的に理解を深められる。個に応じたページや二次元バーコード内の動画やドリル等、児童が主体的に活用できるコンテンツが充実している。

日本文教出版は、見開きごとに1時間の授業展開となっており、問題解決的な学習を進められる。SDGs等の現代的な問題を扱うページや話し合い活動を通じて、多様な考えを比較・関連できる「深め合い」活動のページがあり、発達段階に応じた学びが展開できる内容となっている。二次元バーコードを読み取ると、授業で活用できるワークシートや資料が充実している。

以上です。

○ **委員長** では、社会科のほう、答申文について今、読み上げられましたが、意見がありましたらお願いします。何かございますか。

社会科は、二次元バーコードというのはどの教科書でも、こちらで見ていただいて、資料の豊富さであるとか、活用しやすいとか、それぞれどこも工夫が二次元バーコードのコンテンツの中もあったなということをこの前、審議している中でも意見が出されていきました。

ほかにいかがでしょうか。

ここもSDGsがというのが話題として、この前も一番下の教科出版社なんかは出ていましたね。

何かございますか。平気ですか。

では、特に意見がないようですので、社会については以上で終わりにしたいと思います。

今度、社会で指導して活用する地図帳のほう、事務局のほう、よろしくお願いします。

○ **担当** 引き続いて、よろしく申し上げます。

地図の答申文案を読み上げさせていただきます。

地図帳については、日常の指導の中で、折にふれて、地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料などの活用の仕方について指導し、地図帳を自由に活用できる知識や能力を身に付けるようにすること、各学年において、地図や統計資料などを効果的に活用し、次

第に我が国の都道府県の構成について分かるようにすることが大切である。

東京書籍は、紙面全体の配色が濃く、地名が読みやすいことや特産物品のイラストが豊富であることで、学習への意欲を高められる。「首都東京」のページがあり、文京区を含めた観光名所がイラストとともに大きく掲載されており、自分の住んでいる地域の理解が深まる。楽しみながら学べるクイズや動画等、二次元バーコードのコンテンツが充実している。

帝国書院は、紙面全体の配色が淡く、地形や山脈の高低差が捉えやすくなるよう、立体感のある地図表現であり、視覚的に分かりやすい。「広く見わたす地図」や「江戸時代の結びつき」等では、名産品や観光地、歴史に関するイラストが掲載されており、発達段階に応じた学習の理解が深まる。地図マスターへの道や地球儀の使い方等、主体的に学べるデジタルコンテンツが充実している。

以上です。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、地図帳のほう、いかがでしょうか。

この前話題になったところとしては、東京書籍は観光名所のイラストが掲載されていて、その地域のあれがよく分かりますと。文京区のこと。

あと、帝国書院は高低差が見やすいという意見も出ていましたので、それもきちんとこの中に収められているかなということ。

配色が濃いか薄いで何をより分かりやすくというところは、2つの教科書それぞれ濃くして地名が読みやすい、イラストが見やすいみたいなところと、あとは高低差とか地形とか、その辺の特色はそれぞれよさとしてあるのかなというところは感じました。

では、特に御意見のほうはよろしいですか。

地図については以上で終わりにしたいと思います。

続いて、算数はこの前終わりましたので、理科のほう、よろしく願いいたします。

○ **担当** では、理科の答申文案を読み上げさせていただきます。

理科の目標は、自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することである。

東京書籍は、問題解決の段階を明確にし、学習の進め方や学び方が細かく示され、児童にとって学習が進めやすい構成となっている。また、単元末の「活用」部分では、理科で身に付けるべき資質・能力を伸ばすような場面が設定されている。写真・挿絵など資料が豊富で、大きく掲載され見やすい。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、バラエティに富んだ内容である。

大日本図書は、問題解決の学習過程を重視し、7つの段階に分けて細かく設定され、児童にとって学習を進めやすい構成となっている。また、上学年の学習内容へのつながりを意識した活動が多く設定されている。写真資料が豊富で、説明と写真のページを分けるな

ど、ねらいが明確になっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、内容が一覧で見られ使いやすい。

学校図書は、問題解決の学習の流れが、項目のみで簡単に示されている。ノートの手取り方や学習の進め方など、詳細は巻末にまとめられている。実験方法を考えたり、実験結果を見取ったりするための写真が効果的に配置されている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、観察・実験結果の提示や映像資料が中心である。

教育出版は、問題解決の学習の流れが、6つの段階で示されている。学習の進め方やノートの手取り方が詳細にまとめられている。また、例示されている実験の試行回数が多い。写真やイラストの資料を補足する文章説明が豊富である。見開き資料などの工夫もある。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、観察・実験結果の提示や映像資料が中心である。

啓林館は、問題解決の学習の流れが図で簡単に示されている。ノートの手取り方などは巻末に資料としてまとめられている。前半に生命・地球領域、後半にエネルギー・粒子領域がまとめられた独自性のある単元構成となっている。視覚的な情報を少なくすることで、児童が考えやすい配置になっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは、関連情報が一覧で見られる。

以上となります。

○ **委員長** それでは、理科について、理科は5つの出版社のほうから出されていますが、いかがでしょうか。

やはり理科なんかは二次元バーコードのコンテンツというのが、実験を実際に行ったりとか、実験しにくいところ、いろいろな映像がというところ、この前も話題になっていたかなというふうに思います。写真・挿絵など資料が豊富でとか、それぞれの教科書の特徴がまとめられているかなと思います。

何か付け足したほうがいいのか、結構たくさん教科書がありましたので、ただ私、この前のあれを見ていたら、問題解決の流れが明確で、それがそれぞれの教科書、特色としていろいろ出されているかなというところは、7つの段階に分けてとか、6つの段階でとか、図で簡単にとか、それぞれの工夫がまとめられているかなと思っています。

理科については特に意見がないので、よろしいですか。

以上で、理科については終わりにしたいと思います。

続いて、今度は1・2年生、生活です。よろしくをお願いします。

○ **担当** それでは、答申文案を読み上げさせていただきます。

生活科の目標は、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく資質・能力を育成することである。

東京書籍は、児童の発達段階に配慮した工夫があり、児童が教科書のページをめくりやすくなっている。また、授業の導入で活用できる写真に、児童の意欲につながる工夫が見られる。写真資料が豊富で、植物や生物を実寸大で紹介し、児童の興味・関心を引きやす



い。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツは巻末にまとめられ、様々な生き物を図鑑のように見ることができる。

大日本図書は、児童の深い学びを意識した構成となっている。活動ごとに気持ちマークを使って振り返るページや、ワークシートとして書くことのできるページが豊富である。写真とイラストがバランスよく配置されていて見やすくなっている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、動画として視聴できるものもある。

学校図書は、単元の終わりに「もっと」や「ものしりのうと」などが設定されており、児童の発展的な学びに向かう意欲を引き出す構成になっている。生き物や植物はイラストで示されていることが多く、スケッチしやすい。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、写真で見ることができ、より詳しく知ることができるようになっている。

教育出版は、キャラクターや写真資料で児童の興味・関心を引く工夫がある。生き物や植物のイラスト資料が豊富である。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツでは、さらに多数の生き物が掲載されているページがある。巻末の学びのポケットは、各教科の学習や身近な生活と関連付けて理解することができる。

光村図書は、児童の多様性に配慮したイラストや写真が多く使われている。多様な考え方を示したり、写真やイラストに吹き出しが多く使われたりし、児童の思考の助けとなりやすい。また、活動の写真が大きく示されている。二次元バーコードを利用したデジタルコンテンツに生き物や植物の項目はないが、別冊で写真資料が付属している。

啓林館は、児童の発達段階に配慮した工夫が多くある。どの単元でも構成が統一されているため、児童にとって学習しやすい。他教科との関連や上学年へのつながりを意識した構成となっている。また、「L I V E」というページは、植物や生物が図鑑のように色鮮やかに掲載され、児童の興味・関心を引きやすい。また、デジタルコンテンツが充実していて、発展的な内容も含まれている。

以上となります。

○ **委員長** ありがとうございます。

生活科は1・2年生ということで、低学年のお子さんがどう興味を持てるかという工夫が、それぞれ教科書会社の中にこの前ここで意見が出たような視点で入っているかなと思っています。ページのめくりやすさとか、気持ちマークを使ってとか、イラストが多く、写真とかキャラクターでとか、吹き出しがとか、それぞれいろいろ工夫されているなというところが一つ一つの中に盛り込まれているかなと思います。

いかがでしょうか。何か生活について、付け加えとか御意見とか。

○ **委員** 感想なのですが、実にここで審議されたことが上手に、ニュアンスもちよつとずつ区別しながら書かれているかなと思います。

単なる感想でした。

○ **委員長** 二次元バーコードのデジタルコンテンツは、どこも書かれているのだけれども、その中の特色もうまくまとめていただいているかなと思います。生き物図鑑のように

とか、動画が見られるから興味を持ちやすいよとか、いろいろありますね。

では、よろしいですか。

生活科についても特に御意見はないということで、以上で終わりにしたいと思います。

続いて、音楽は2つです。よろしくお願いいたします。

○ **担当** それでは、音楽の答申文案を読み上げさせていただきます。

音楽科の目標は、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することである。

教育出版は、題材の構成がシンプルで、児童が考えたことを書き込むことができる工夫がされている。教科書内の写真や挿絵が豊富で、児童が自分のイメージを膨らませながら創造的に学ぶことができる。世界の音楽を扱う単元や鍵盤ハーモニカを使う単元では、写真や二次元バーコードが効果的に編集されているので理解しやすい。

教育芸術社は、「見つける」「考える」「歌う・演奏する」という学習の流れがパターン化されているため、児童にとっては分かりやすく、学習の見通しをもつことができる。各所にあるキャラクターの吹き出しが、児童の気付きを引き出し、学びを深めるための工夫となっている。リコーダーでは、タンギングと息の使い方について、写真で具体的に示されているため、理解しやすい。

以上です。

○ **委員長** では、音楽についていかがでしょうか。

この前ちょうど5年生の鑑賞教室で、オーケストラの話題で、教育出版のほうだったかな、写真が、オーケストラが大きくぼんと全体がとか、効果的な写真の掲載ということについても意見が出されていたかなと。

あと、リコーダーのタンギング、1・2年生で鍵盤ハーモニカ、その辺のことについても分かりやすく写真で具体的にというような意見も教育芸術社のほうで出されていたかなと思います。

ということで、2つの教科書それぞれがこの前出された意見を網羅してまとめていただいているかなと思います。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

続いて、図画工作、これも出版社のほうは2つです。よろしくお願いいたします。

○ **担当** 図画工作の目標は、表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することである。

開隆堂出版は、全学年共通で図画工作科の目標の3観点に合わせたアドバイスがあり、児童が各学年の目標を捉えやすく、主体的な学びに繋がっていく。二次元バーコードにはワークシートの掲載があり、児童の発想・構想の力の定着が期待できる。また、写真やイラストを活用するなど、作品の工程が理解しやすくなるよう工夫されているため、児童は見通しをもって取り組める。

日本文教出版は、作品の写真のレイアウトや見出しに工夫があり、児童は意欲・興味・関心をもって学習に取り組める、特に、1年生の教科書の見開き頁には、多くの素材が掲載されているため、児童は想像を膨らませやすくなる。「材料と用具の引き出し」では、用具の分類が「切る」「はる」などの、活動の分類となっており、分類の仕方が子ども目線になっているので理解しやすい。

以上です。

○ **委員長** 図画工作のほう、2つ。

この前、開隆堂のほうは、ワークシートの掲載があつて、それに書き込みやすいとか、その辺の児童の見通しのことが出されていたかなと思います。

あと下は、レイアウトの工夫がされていて、児童が意欲的に取り組めそうかなというような意見も出されていたかと思います。

図画工作について、それぞれ代表的な皆さんの御意見もここに載せられているかなと思いますけれども、図画工作についてもよろしいでしょうか、特に御意見なしということで。

ありがとうございました。

続いて、5・6年の家庭科についてということで、お願いいたします。

○ **担当** 家庭科の目標は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、目次の単元の配列が5年生と6年生で同じになっているため、学年間の系統性がわかりやすい。また、SDGsに関する単独の頁があつたり、キャリア教育にかかわる動画があつたりと、様々な視点から生活を見つめ直すことができるように工夫されている。

開隆堂出版は、各題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで展開されており、児童は学習ごとのねらいを明確にもちやすくなり、主体的な学びにつながる。また、見開きで活動の流れが完結されているため、児童は全体の見通しをもって学習を進めることができる。

以上です。

○ **委員長** では、家庭科のほうについて、何か御意見等ございますか。

家庭科についても、裁縫だとかいろいろなものが、いろいろなページを見ないと分からないけれども、こちらのほうは見開きで活動の流れが一目で分かりやすいというような意見もこの前出たかなということと、あとは学年間の系統性みたいのところ、SDGs、それが大きな取り上げ方をされて、興味を持てるのではないかと。単独のページがみたい意見も出されていたかなと思います。その辺もうまくまとめていただいているかなと思います。

ここについてもよろしいですか。

では、家庭科については以上、御意見がないということで、終わりにしたいと思います。

保健です。保健については、3年生以上、6つの教科書会社から出ています。よろしくお願ひします。

○ **担当** それでは、保健のページを御覧ください。

体育科の目標は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することである。

東京書籍は、罫線の引かれた書くスペースが多く設けられており、児童にとって書きやすく取り組みやすい工夫がなされている。また、養護教諭やスクールカウンセラーなどのアドバイスが掲載されており、学校内外の専門性を有する人材の有効活用が示されている。

大日本図書は、「考える・やってみる→まとめる→広げる・深める」のステップが示されており、児童は学習の見通しをもって取り組むことができる。「新しい命」の単元では、保健で扱う内容が他教科の学習に繋がっていくようになっており、児童の興味・関心が広がるよう工夫されている。

大修館書店は、表紙裏の見開きのページでは、普段の生活と保健の学習の関係が示されており、児童の興味・関心を引くことができる。また、児童が自分で考えてから友達と話し合う流れになっており、自他の考えを比較・検討し学習内容を深められる構成になっている。

文教社は、吹き出しで大事にしたいポイントや、考えさせたいことが端的に示されている。また、豊富に掲載されている写真やイラストを、グラフなどの資料と組み合わせて学習することにより、児童の理解を深められる構成になっている。

光文書院は、各単元で学習したことを自分の生活の中でどう生かせるかを考えさせるための問いが工夫されており、「もっと考えよう課」の内容が充実している。また、SNSという現代的な課題を話題にしながら、「人との接し方」について、具体的・効果的に取り上げている。

学研は、学習内容が「導入→自ら取り組む→対話的な活動→活用」で構成され、課題解決に向けた学習ができる。書き込める枠が豊富で、プリントなどをあまり必要としない。また、罫線も引かれていることで、書き込みやすい。資料も数が絞られているため、すっきりとした印象がある。

以上です。

○ **委員長** ありがとうございます。

保健について、自ら課題を見つけて、その解決に向けてという、そういう学習の流れがどの教科書でも。ただ、その提示の仕方であるとか、その辺は教科書によって工夫があるのかなど。プリントを用意しなくてもいいという視点での例えば教科書に書き込みやすいという工夫もあれば、あとは「新しい命」の単元でと、その単元での工夫がこの前も出されていたようなこともあったかなと思っています。

では、いかがでしょうか。保健についてよろしいですか。

特に御意見はないということで、よろしくお願いいたします。

続いて、外国語のほう、よろしくお願いいたします。

○ **担当** 外国語科の目標は、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することである。

東京書籍は、教科書への書き込みがしやすく、辞書が別冊で1冊にまとまっているため、児童にとっても、教員にとっても使いやすい。児童用デジタル教科書は映像が豊富で、児童の興味を引きやすいうえ、字幕の有無を選択することができる。教科書のデジタルコンテンツの数も豊富である。

開隆堂出版は、中学年で学習した内容を掲載するなど、復習しやすい構成になっている。SDGsを学習のテーマに取り上げたり、国語の教材を取り上げたりするなど、カリキュラム・マネジメントの視点での充実を図っている。振り返りがひとまとめになっており、学習状況の把握がしやすい。

三省堂は、別冊の辞書に掲載されている単語を使った会話文が示されているため、真似するような練習がしやすい。学習の進め方が分かりやすく示されており、児童は見通しをもって学習に取り組める。中学校で入りたい部活等について取り扱っている単元が充実しており、中学校への接続が意識されている。

教育出版は、はじめの二次元バーコードを読み取ると、全レッスンのデジタルコンテンツがまとまっているため、各コンテンツにアクセスしやすく、復習などに便利である。アメリカの手話が紹介されたり、表紙に車いすの子どものイラストが使われたりしており、多様性の尊重と人権への配慮が感じられる。

光村図書は、どの単元の学習においても大切にしてほしいこととして「いつも『たいせつ』」を示している。各教科との関連を図るなど、カリキュラム・マネジメントの視点での充実を図っている。辞書は単語だけでなく、当該の単語を使った会話文も取り扱っているため、実践的である。

啓林館は、始めに「コミュニケーションに大切なこと」が丁寧に示されており、児童は見通しをもって学習に取り組める。発表ややり取りの工夫について考える活動を取り入れており、深い学びにつながる。児童用デジタル教科書は、歌やチャンツの字幕が進み具合をなぞって表示されるのでわかりやすい。

以上となります。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、外国語について何か意見はございますか。

この前の話だと、例えば別冊の辞書の活用のしやすさとか、あとはその中身、あと二次元バーコード、それから歌やチャンツの字幕の進み具合がなぞって表示されるので分かりやすい、デジタル教科書等の中での使いやすさみたいなところも話題として出ていたかなと。あと、多様性の尊重、人権への配慮というところが話題に出ていた教科書もあります

が、それらが網羅されているかなど。あと、いろいろな他教科との関連を図っているというのが幾つか出されていた特色かなど思っています。

それでは、外国語のほう、よろしいでしょうか。特に意見なしということで。

最後に、特別の教科道徳について、よろしくお願いいたします。

○ **担当** 道徳科の目標は、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることである。

東京書籍は、発問数が適度であり、児童はじっくり考え、議論することができる。「つながる・広げる」では、本編教材で考えたことを他教科等や日常生活に広げられる。巻末の付録では、思考ツールや心メーターなど、学びに役立つ資料が掲載されている。教科書の背面の保護者向けメッセージには、道徳の時間で育むことが分かりやすく記載されている。

教育出版は、児童の発達段階を踏まえ、低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材を中心に構成している。「いじめ」「自然環境」など、現代的な課題とされている内容項目の教材が連続してひとまとまりに配置されている。巻末には「れいぎ・マナー」や「世界人権宣言」の資料が掲載されており、道徳の授業以外でも活用できる。

光村図書は、教師による発問や、考えたり話し合ったりする場面の設定が丁寧に例示されているため、授業の計画立案に役立つ。文京区にゆかりのある教材があり、地域の特性に合致している。「つなげよう」では、各教材と関連する発問や他教科との関連がマークで示されており、道徳で学習したことを他の教科で広げやすい。

日本文教出版は、教材の二次元バーコードに、関連する資料や道具箱が教材ごとに表示されており使いやすい。道具箱には、心情メーター、シンキングツール、ワークシート等、話し合ったり考えたりするためのデジタルコンテンツが充実しており活用がしやすい。別冊の「道徳ノート」は、使用上の規制が少ないため、教師は自由に使いやすい。

光文書院は、掲載されている教材が豊富なため、教師による選択の幅が広い。すべての教材に4つの発問が設定されているため、授業計画がしやすく、授業も進めやすい。考えをまとめたり、広げたりするための手だてとして思考ツールの活用方法を提示している。巻末にある教材の一覧には現代的な課題や他教科との関連について分かりやすく記載されている。

学研は、様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材とキャリア教育に関連する教材が豊富なため、児童の興味・関心を引き出すことに効果的である。発問数が適度であり、児童がじっくり考え、議論することができる。「深めよう」や「心のパスポート」など、話し合いや記述などの言語活動を随所に取り入れている。

以上です。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、特別の教科道徳について、今、それぞれの教科書会社の特色みたいなもの、工夫がまとめられていますか、いかがでしょうか。

文京区にゆかりのある教材ということは、この前も話題に出ていました。あとは、思考ツールとか心メーター、そういう資料が実際の授業で活用できるというようなこともこの前出されていたかなと思います。デジタルコンテンツもそうですね。

道徳について、何かございますか。

いいですか。

では、道徳については以上で終わりにしたいと思います。

ありがとうございました。

では、この前の審議会での話合い、事務局のほうにまとめていただいた答申文案について、全ての審議が終了いたしました。ありがとうございました。

最後、確認となりますが、前回御審議いただいた算数も含め、全教科の答申文案について、教科用図書調査研究委員会からの報告のまとめや教科書展示報告も踏まえ、最後に御意見がありますでしょうか。今日配られたこれが真砂中央図書館、あと教育センターの御意見、そして調査研究委員会から出されていたそれぞれの教科の意見等を踏まえての議論で、今日このような形にまとめていただきましたけれども、何かございますか。真砂中央図書館、あと教育センター、結構たくさんあるから、じっくりと時間をとということは今、していませんけれども、少しお時間を取りますか。

では、今日初めて出された資料3と4についてお目通しをいただいて、3分程度お時間を取りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

どうでしょうか。資料3、4を改めて御覧いただいて、一般の区民の方の御意見も、その教科書の中のこの部分ということについて、どうなのだろうという御意見もあれば、全体的に写真とか視覚的に子供に分かりやすいかという視点で御意見をいただいたりとか、いろいろ御意見のほう、でも、視覚的に分かりやすいかとか、あとは教科書が重たいのではないかとか、その辺も含めて、私たちが議論してきた中での意見が同じように区民の方からも出されているかなという印象です。

あとは、その教科書を使ってどう授業をしていくかというのは、教師のほうの工夫だったりすると思うので、そこについては、その教科書を使って何を教えるかという、こちら側の指導力・授業力のところについては大きな課題として投げかけていただいているところもあるかなと思います。

いかがでしょう。資料3、4について今、読んでいただいて、特に何も平気でしょうか。

ありがとうございました。

では、この後の流れについて皆さんで確認をしたいと思います。副委員長のほうからいかがでしょうか。

**○ 副委員長** 今日審議を進めていただきまして、ありがとうございました。

事務局で答申文案を再度確認をさせていただいて、答申文を7月5日水曜日に送付をさ

せていただきたいと思います。

日程が大変短くて恐縮ではございますが、何か御意見等がありましたら、7日金曜日までに電話やメール等で結構でございますので、御意見があればお寄せいただければと思います。

改めて御意見を反映させ、その後は委員長に一任という形にさせていただければと思います。最後は委員長に御確認をいただきまして、教育長に最終的な答申文として提出をする形を取らせていただければと思います。

大変限られた日程の中で、効率よく審議を進めていただきましたことに、改めて感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

○ **委員長** それでは、今、副委員長のほうからお話があったとおり、最終的に御意見を7月7日金曜日、七夕ですね。その日までにお寄せいただいて、5日には郵送されるということでもいいのですね。最終的な確認をしていただいて、何かあれば7日までに事務局のほうに御意見をお寄せいただくというような形で、最終的には答申文を整理して、11日に教育長に手渡すという形になるということです。

それでは、よろしいでしょうか。

最後、事務局のほうから何かございますか。

○ **担当** 第3回の議事録を机上配付させていただいております。また、本日第4回目の議事録についても、後日メールにて送付をさせていただきます。もし何かお気づきの点等ございましたら、7月10日月曜日までに私まで御連絡いただければと思いますので、答申文と共に、どうぞよろしく願いいたします。

今までありがとうございます。

○ **委員長** ありがとうございます。

では、第3回の会議録、あと今日の会議録についても後日ということで、何かあれば事務局のほうにということですか。

これが開示の対象になるということですからずっと申し上げていたのですが、そのときには、誰の御発言かというのは特に記されずという形でよろしいですね。

○ **担当** 括弧になっている名前のほうは抜いて、誰が発言したかというのが極力分からないような形には修正等をさせていただきたいと思っております。

○ **委員長** 分かりました。

それでは、何かあれば事務局のほうまでお問合せをいただければと思っています。

それでは、「令和6年度使用小学校教科用図書審議会」、本日で第4回ということになります。閉会といたします。

本当に御協力いただきまして、ありがとうございます。

○ **担当** それでは、以上で終了となります。今までありがとうございます。

本日につきましては、資料3と4につきましては回収とさせていただきますので、机上のほうに残していただければと思います。



また今後とも、引き続きよろしくお願ひいたします。本当にありがとうございました。